

登録コード	A3591391	開講年度	2026				
授業科目	プレゼンテーション演習					担当教員	守口 海
英文授業名	Presentation						
単位数	1	講義期間	後期（随時）	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	3年生（研究室配属後の学生対象）
講義室				授業形態	演習	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー 該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					【授業の達成目標】	
	2 0 2 2 Aカリ，2 0 2 1 Aカリ，2 0 2 0 Aカリ，2 0 1 9 Aカリ						
	【2022年度以前加わむ対象】専門的な知識や研究能力を修得している					スライド資料を用いた口頭発表により、自らの考えを正確かつ平易に表現できる。	
	【2022年度以前加わむ対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って問題をとらえ解決する能力を修得している					スライド資料を用いた口頭発表により、自らの考えを正確かつ平易に表現できる。	
	2 0 2 6 A3 編（24A），2 0 2 5 A3 編（23A），2 0 2 4 Aカリ，2 0 2 3 Aカリ						
	【2024年度以前加わむ対象】専門的知識や研究能力を基礎としての確かな情報を収集・理解し、発信できる能力を修得している。					スライド資料を用いた口頭発表により、自らの考えを正確かつ平易に表現できる。	
	【2024年度以前加わむ対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って様々な課題をとらえ、解決する能力を修得している。					スライド資料を用いた口頭発表により、自らの考えを正確かつ平易に表現できる。	
(2)授業で学べる「テーマ」	環境共生						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	卒業研究の先行研究の紹介を通し、プレゼンテーションに必要なスライドの作成方法を演習形式で修得する。						
(5)授業計画	1. プレゼンの目的 2. プレゼンの流れ 3. スライドの基本構成 4. 視認性・可読性 5. 研究論文とプレゼンの差異 6. 質疑応答 7-15. 他者のプレゼンを聴講するとともに、自分の担当回では卒業論文のテーマに関連した先行研究についてプレゼンを行う。 最終回の授業の最後に授業アンケートを実施する。						
(6)自主学習の指針	先行研究を検索・熟読するとともに、様々なスライド資料に触れ、限られた時間でも理解しやすいスライドを作成する。質疑応答の際に的確な応答ができるよう、先行研究のみではなく周辺分野の学修にも努めること。						
(7)成績評価の基準	秀：授業の達成目標水準から見て卓越している。（90点以上） 優：授業の達成目標水準よりかなり上にある。（80～89点） 良：授業の達成目標水準よりやや上にある。（70～79点） 可：授業の達成目標水準にある。（60～69点） 不可： 授業の達成目標水準にない。（59点以下）						
(8)事前事後学習の内容	事前学習：既存の研究発表プレゼンを閲覧し、基本構成を抑えておくこと。 事後学習：聴講者の指摘や質疑応答を吟味し、プレゼン資料を改良するとともに、研究に関する理解を深めること。						
(9)テストやレポートの予定	プレゼンを以てレポートとする。						
(10)成績評価の方法	受講態度およびプレゼンの内容により総合的に評価する。						
(11)質問、相談への対応および連絡先	ゼミ室またはB棟203号室にて受け付ける。						
(12)履修上の注意	出席が2/3に満たない受講者には単位を認定しない。						
【教科書】	指定しない。						
【参考書】	酒井聡樹．これから学会発表する若者のために -ポスターと口頭のプレゼン技術．共立出版．						